

海外の変わったカメムシ

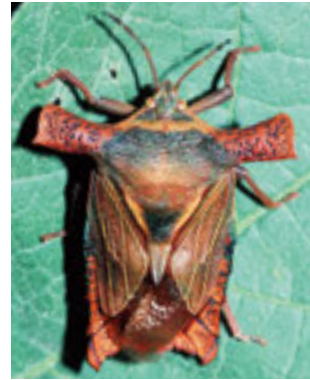
欧米の研究者の視点では、わが国のカメムシたちにも興味をそそる変わりだねがいろいろあるようだ。日本でもめったにお目にかかれないツシマオオカメムシや、目立つうえにわが子に餌まで運んで育てるベニツチカメムシなどがそうらしい。とはいえ、多様性の高い熱帯圏には、想像を超えた巨大なものや、珍奇な色彩形態をもつカメムシは升で量るほど存在する。ここでは、筆者らが海外で出会った面白いカメムシたちにちょっと触れてみたい。



ケニアのとんがりエビイロカメムシ類



ケニアの人面ツチカメムシ



ボルネオ・ダナンバレーのオオカメムシ



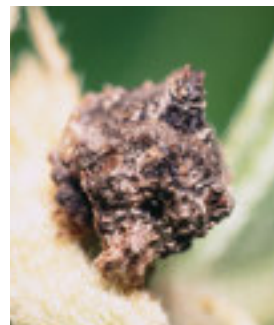
ケニア産キンカメムシはいかにもアフロなデザイン



渋い色合いのカスミカメ Michailocoris pulchoki (ネパール)



すばらしいブルーのカメムシ(ボルネオ)

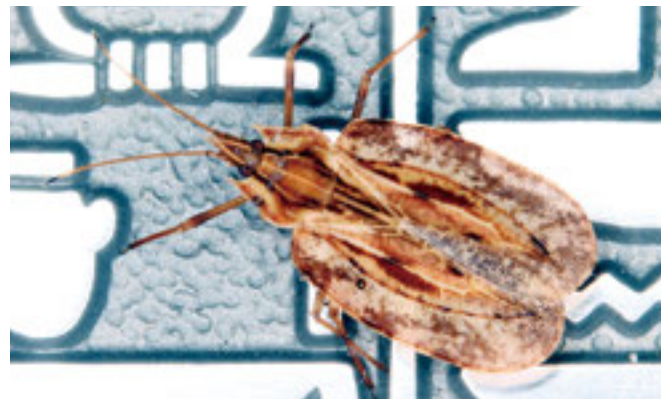


ゾウムシが乾いた糞のようなカメムシ(ケニア)



メタリックグリーン of ミャンマー産オオカメムシの一種

↓世界最大級のグンバイムシ Nectocader sp. (タイ)



小楯板に筆? タイとフィリピンに分布するハシリカスミカメの仲間 Peniculimiris meniscus



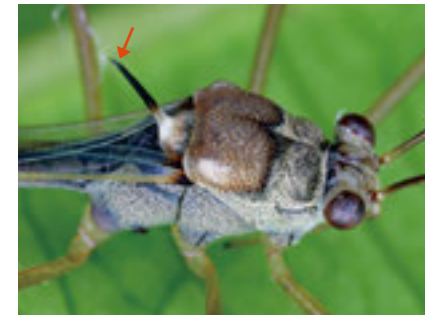
ぎょっとする長さの Macroceroea grandis (高橋敬一氏原図)



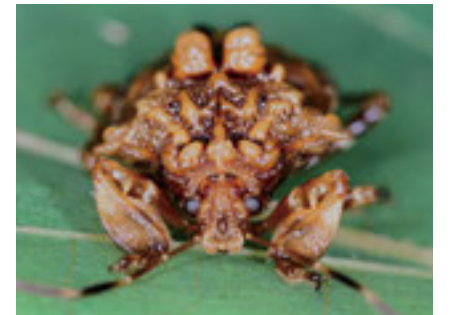
明らかにハチに擬態しているカスミカメムシ Pachypeltis humerale (タイ)



そこまでアリになりたい? Pilophorus barbiger (タイ)



日本にいない科 Colobathristidae は鋭い武器をもつクモヘリカメムシ類の近縁群



台湾の Cazira 属クチブトカメムシ類は 'カジラ' というよりゴジラ?



子連れで引っ越し自在の偉大な母, Pygoplatys 属オオカメムシ類 (ボルネオ)

東南アジアの清流にすむ赤いカタビロアメンボ Perittopus sp.

↓ 猛猛なツムギアリが好物のアメンボ Limnometra sp. (タイ)



↓ 東南アジアには幻想的色彩のスカシカスミカメムシ類が多い (写真は Hyalopeplus malayensis)

